

財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記については以下の表示による。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価方法

- 1.満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
- 2.その他の有価証券・・・時価のあるものは期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	2,439,670,327	99,442,158		2,539,112,485
小計	2,439,670,327	99,442,158		2,539,112,485
特定資産				
投資有価証券	8,521,787,741	83,149,635		8,604,937,376
奨学事業記念資金	302,165,000		86,810,000	215,355,000
小計	8,823,952,741	83,149,635	86,810,000	8,820,292,376
合計	11,263,623,068	182,591,793	86,810,000	11,359,404,861

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	2,539,112,485	2,539,112,485	-	-
小計	2,539,112,485	2,539,112,485	-	-
特定資産				
投資有価証券	8,604,937,376	-	8,604,937,376	-
奨学事業記念資金	215,355,000	-	215,355,000	-
小計	8,820,292,376	-	8,820,292,376	-
合計	11,359,404,861	2,539,112,485	8,820,292,376	-

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金	23,345,621
合計	23,345,621

附属明細書

1.基本財産及び特定財産の明細

「財務諸表に対する注記」に記載しているため、記載を省略しております。